

令和3年7月9日

四国地方整備局

魅力ある地域づくりを称える
令和2年度「手づくり郷土賞（国土交通大臣賞）」
～認定証の授与式を開催します！～

「手づくり郷土賞」は、地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。

令和2年度（第35回）は、一般部門で四国から2件選定されました（別紙参照）。

今回、四国の秘境 山城・大歩危妖怪村及び三好市への認定証の授与式を以下のとおり開催します。

- 受賞団体：四国の秘境 山城・大歩危妖怪村
三好市
件 名：さがしい村に伝わる妖怪ばなしでまちおこし
開催日時：令和3年7月13日（火） 10時00分～
会 場：道の駅大歩危（三好市山城町上名 1553-1）
出席者：四国の秘境 山城・大歩危妖怪村
三好市 黒川市長
国土交通省 四国地方整備局長 他
式次第：活動概要説明、認定証授与、祝辞、謝辞 等

※詳細については、手づくり郷土賞パンフレットをご覧ください。

(https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/pdf/Part35_R02/R02_all.pdf)

※日時場所については、変更する場合があります。当日取材される場合は、事前に問合せ先までご連絡ください。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」の取組に関連します。

<問い合わせ先>

四国地方整備局 企画部 広域計画課

課 長 石岡 克彦

○課長補佐 草薙 万男

電話 087-811-8309（広域計画課直通）

○：主な問い合わせ先

四国地方整備局

令和2年12月4日

令和2年度「手づくり郷土賞」に四国から2件が選定！！

地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰する「手づくり郷土賞」に今年度は、四国から2件が選定されました。

<一般部門>

■ 受賞団体：四国の秘境 山城・大歩危妖怪村・三好市（活動地区：徳島県三好市）
件 名：さがしい村に伝わる妖怪ばなしでまちおこし

■ 受賞団体：NPO法人グラウンドワークひだかむら（活動地区：高知県日高村）
件 名：日高村におけるグラウンドワーク手法による環境維持・地域づくり活動

■「受賞記念発表会 ～グランプリ 2020～」に関するお知らせ

例年、全国に優れた取組が広がることを目的に、手づくり郷土賞の受賞者から活動の紹介を行って頂く受賞記念発表会を開催していますが、現在の新型コロナウイルス感染拡大の状況から、今回の発表会の開催時期については、未定です。

開催時期が決まりましたら、改めてお知らせします。

※認定証の授与式の日程等につきましては、改めてご案内いたします。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」の取組に関連します。

<同時発表>

- ・国土交通省総合政策局公共事業企画調整課
- ・大臣官房公共事業調査室

<問い合わせ先>

四国地方整備局 企画部 広域計画課

課 長 西山 修

○課長補佐 新池 保徳

電話 087-811-8309（広域計画課直通）

案件名

【活動地区：徳島県三好市】

さがしい村に伝わる妖怪ばなしでまちおこし

＜地域活動団体＞

四国の秘境 山城・大歩危妖怪村、三好市



＜対象となる社会資本＞

道の駅大歩危



▶ 地元小学校が妖怪まつりに参加。
御輿を担ぎ、妖怪に扮装。



▶ 地元小学校休校記念。自分たちで作った目玉妖怪。



▶ 親子料理教室の様子。
子供たちが自ら妖怪にちなんだ料理を開発。



▶ 完成した妖怪像を「妖怪街道」に設置。

＜活動内容＞

地域住民が中心となって「四国の秘境 山城・大歩危妖怪村」を2008年に結成。「妖怪祭り」や「妖怪ウォーキング」等の地元イベントの企画・運営を行いながら、妖怪文化の継承・発展に努めている。妖怪祭りの来場者は当初から約5倍に増加した。2018年に次世代を担う若手7名より結成された妖怪人形劇の取組や、地元小学生と協力して妖怪スイーツを考案し、販売する等、町ぐるみで妖怪をアピールすることで地域活性化に繋がっている。地域の魅力を自ら発見するきっかけとなり、愛着を育む活動となっている。

案件名

【活動地区：高知県日高村】

日高村におけるグラウンドワーク手法による
環境維持・地域づくり活動

＜地域活動団体＞

NPO法人グラウンドワークひだかむら



＜対象となる社会資本＞

日下川調整池・渋川砂防ダム



▶ メダカ観察会の様子。



▶ 渋川トンボまつりの状況。



▶ メダカ池周辺 草刈り作業の様子。



▶ 渋川地区でのトンボ池整備状況。

＜活動内容＞

日高村は平成7年より自然豊かな日下川調整池周辺で小学生を対象とした「わくわく湿地探検隊」等の活動を開始。平成9年より行政・地域・企業が協働しグラウンドワーク方式による地域づくり活動を展開。平成24年に地域住民が主体的に取組を進める「NPO法人グラウンドワークひだかむら」を発足し、小学生を対象とした親子観察会等の開催、草刈等の環境整備活動、自然体験のイベント等の多様な主体の参画による取組を継続している。希少なトンボの繁殖地である渋川砂防ダム周辺でも環境整備を実施。地球の環境に対する気運が高まっており地域住民の美化意識の向上や地元の愛着を育む活動となっている。

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和2年度で35回目。

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和2年度）

委員長	秋田 典子	千葉大学大学院園芸学研究科 准教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	斉藤 俊幸	地域再生マネージャー
委員	真田 純子	東京工業大学 准教授
委員	野澤 康	工学院大学 教授
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー

／一般財団法人コレゾ財団 代表理事 (敬称略)

令和2年度 手づくり郷土賞 認定案件

資料3

<一般部門：13件>

No	地整等	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	北海道	奈井江町	大河石狩川に並ぶ、日本一の直線国道 ～日本一の直線が紡ぐ地域の繋がりと次世代への思い～	特定非営利活動法人 日本一 直線道まちづくり研究会	—
2	東北	岩手県	盛岡市	盛岡市鉤屋町界隈 ～盛岡町家と暮らしと文化がいきづく街並みの保存活用～	特定非営利活動法人 盛岡まち 並み塾	—
3		秋田県	大仙市	河港のまち角間川ルネサンス ～雄物川舟運の歴史文化を活かしたまちづくり～	角間川地域活性化協議会	大仙市
4	関東	群馬県	板倉町	水害時における自助共助の伝統の継承 ～「命のかけ橋」水塚の在る町～	水場の風景を守る会	—
5		神奈川県	伊勢原市	駅前ロータリーから広がるふれあいの輪 ～地域でできることは地域で～	成瀬活性化委員会	—
6	北陸	富山県	富山市	市民が守る育てる呉羽丘陵 ～持続可能な里山再生への取り組み～	NPO法人 きんたろう倶楽部	—
7		石川県	金沢市	旧街道と歴史が織りなす地元へ来まっし！！ ～金沢城下 野町・弥生誘い街道～	金沢城下 野町・弥生の街道筋 を愛する会	—
8		石川県	野々市市	「北国街道野々市の市」 ～北国街道は、文化や夢、希望を運び、育んだ街道です～	北国街道野々市の市実行委員 会	—
9	中部	岐阜県	各務原市	中山道間の宿 新加納 ～歴史文化を次世代に継承するまちなみ保全と再生～	中山道間の宿 新加納まちづくり 会	各務原市
10	四国	徳島県	三好市	さがしい村に伝わる妖怪ばなしでまちおこし	四国の秘境 山城・大歩危妖怪 村	三好市
11		高知県	日高村	日高村におけるグラウンドワーク手法による環境維持・地域 づくり活動	NPO法人グラウンドワークひだ かむら	—
12	九州	福岡県	福岡市	博多は 生きてる博物館	ハカタ・リバイバル・プラン	—
13	沖縄	沖縄県	名護市	名護東海岸の活力あふれる地域づくり	名護市久志支部区長会	—

<大賞部門：3件>

No	地整等	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1	東北	秋田県	小坂町	明治の遺産を活用した手づくり鉄道博物館 ～明治のレトロモダンを未来に継承～	小坂鉄道保存会	小坂町
2	関東	東京都	江戸川区	地域と共に 桜と水辺の散策路 ～ 篠田堀親水緑道 ～	篠田堀親水緑道を愛する会	江戸川区
3	九州	宮崎県	都城市	未来に生きる子どもたちのためのどんぐり1000年の森づくり	特定非営利活動法人 どんぐり1000年の森をつくる会	—